



日本共産党八王子市議会議員団ニュース 19期一No.39

鈴木ゆうじの 市政報告

事務所 メール 八王子市大楽寺町412番地 Tel 655-2802 Fax 655-2803
yuji-net@wj8.so-net.ne.jp

6月の議会で、日本共産党市議団は、「東京四大地震の被害想定と本市の対策」について質問し、すでに23区と町田・調布・武蔵野市でも実施されている分譲マンション耐震化への補助制度の実現も求めました。しかし、石森市長は、災害に強いまちづくりが早急に急がれているにも関わらず「今後、調査研究をしたい」という答弁にとどまりました。

日本共産党市議団は、分譲マンションの倒壊は、住民の生命にもかかわり周辺へも大



写真が高尾駅前のパークハイツ

実例から

江戸川区ライオンズマンション大島町
耐震改修費用4700万円のうち助成額1200万円

ー 管理組合のコメント ー

大規模改修を検討していたときに区報で助成制度が開始されたことを知り、耐震化検討の発端となった。区も管理組合も互いに初めての取り組みだったので意思疎通が難しかったが、助成制度があったことや区の担当者からのアドバイスが大変役にたった。改修後に中古物件の売買が1件あったが改修前より売買額が上がったようだ。

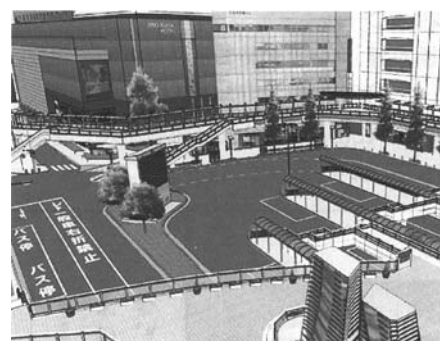
9月10日から10月18までの会期で市議会第3回定例会が開かれました。日本共産党八王子市議団は、議案提案権を使って、分譲マンション耐震化促進条例を10月18日の最終本会議に提案しました。本会議では提案説明と自民党・公明党の二会派より代表質疑があり、都市環境委員会に付託され、11月の委員会で審議されることになりました。

日本共産党市議団議案提案権を使って 分譲マンション耐震化促進条例を提出

耐震化のための改修設計、
改修工事の費用に補助
すでに23区は全て実施

大きな被害を及ぼすことから対策が急がれる課題として、昭和56年以前の「旧耐震基準」で建設されたマンションの耐震化を促進するため、国、都の制度を活用しさらに市の補助を上乗せした助成を盛り込んだ条例を提案しました。

八王子駅北口マルベリーブリッジ延伸 12億円もの税金のムダづかい追及



京王プラザホテル方向に130メートル延伸

直ちに
8名の議
員の提案
による信
号機設置
の要望書
を市長宛
に提出し
ました。

市は、京王プラザホテル前交差点は信号機が付けられないため、歩行者の安全を図るためブリッジの延伸が必要であると説明してきました。

八王子警察が現状では信号機が付けられないとした3つの理由（信号待ちの人だまりに要する歩道面積の不足、守られない信号機になる、交差点のクルマ渋滞）について8名の市議が現場調査、その結果、いずれも信号機の設置ができない理由にならないことが判明しました。

市議八名で信号機設置要望

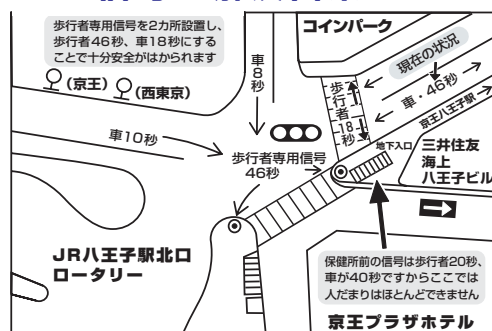
9月の議会で市から、総額11億2350万円のマルベリーブリッジ延伸の工事契約案件が提出され、八王子駅周辺整備事業の補助金の使い方などをめぐって大きな問題に発展、議論されました。

信号機設置で危険性は解決できる

検討協議会でも疑問が

平成22年11月の第6回駅前改善検討協議会では、隣接する旭町・明神町地区の再開発が行われると、ブリッジ延伸で設置されるエスカレーターを撤去しなければならぬが、いまブリッジ延伸が必要なのか。という議論がされていました。しかし、その結論が出る前に市は実施予算を組みました。

信号で解決出来る



背景に、南口再開発で使いすぎた20億円の国の補助金を5億3000万円返却しないで済むように、関連事業を市費だけで進めて帳尻を合わせることが明らかとなりました。

会計検査院も不適正を指摘

私は、補助金の交付要綱を調べ、「南口再開発の事業で使える補助額は、事業の完成年度には20億円は使えなかったはず」と都市環境委員会で質しました。市は、「要綱どおりに交付されれば、20億円は使えなかった。このような交付について会計検査院からも国が指摘を受けた」と聞いている。と認める答弁がありました。

今後西側へも延伸することが計画されていることから30億円を超える事業になりかねません。日本共産党市議団はこのような税金のムダ遣いは許されないことを強く主張しましたが、自民、公明、民主などの賛成で可決されました。

貴重なみどりを守れ サッカーを利用した残土事業は許されない！

川町スポーツパーク計画 中止求め請願署名始まる

川町グリーンタウン住宅に隣接する谷戸を60万³mの残土で埋め立てサッカー場などをつくる計画が持ち上がり、「貴重なみどりを壊すもの」「残土事業で良好な住環境が壊される」と地域住民が反対運動に立ち上がりました。

60万³mの残土事業は八王子市内で行われる同事業としては最大規模のものです。市はこうした事業に対してこれまでは「市のまちづく



現地観察会 9.21

りの基本方針でも認めていない、市街化調整区域の土地の形質を変える開発は認められない」

として、許可権者である東京都に意見を提出してきました。

計画地は、高尾陣場自然公園内の一角で八王子城跡のすぐ北側、貴重な鳥や昆虫などが生息するみどり豊かな土地です。また、大沢川の源流地域でもあり10トントラック12万台にもおよぶ残土持込は下流域で暮す住民の安全にも関わる問題です。

住民は、「川町の環境を守る会」を立ち上げ、八王子市の貴重なみどりと住環境をまもるため、市街化調整区域のみどりを守る条例をきちんと適用し、計画を中止させることを求める請願提出を決め、署名運動に取り組んでいます。

市議会内でも、「本市のまちづくりにとっても見過ごせない、開発は認めるべきではない」として11人の議員が活動を開始しています。

TBS「噂の！東京マガジン」でも放映

激怒！森林を残土で埋め、サッカー場建設



質問に答える石森市長

残土事業に反対する住民の取り組みや、9月に行った私の一般質問がTBS系「噂の！東京マガジン」で10月21日放映されました。

この地域では元八王子町ホームースタウン内の墓地建設問題（墓地建設はその後中止となり解決）に続いての放映となりました。



本会議場で質問する鈴木

スポーツ振興団体のNPO法人が、八王子市で問題を起こしている残土事業など行うべきではないと思います。



鈴木事務所でインタビューを受ける

事業者は、サッカー協会とは別法人と聞いている。市として総合的な見地から適正に対応してまいりたい。



請願署名にご協力を
川町環境を守る会

代表 川又秀夫

このような残土事業は、八王子市の貴重なみどりを壊すもので許されないと考えます。全市的な問題だとも思います。私たちは計画地の隣でくらしています。住環境を守り、安全で安心して生活できるまちをめざして努力しています。ぜひとも多くの市民に請願署名運動にご協力をいただきたいと思っています。

（私、鈴木ゆうじが、会代表の川又さんにお話を聞き掲載しました）